



学校だより

No.529

令和 3年 12月2日
練馬区立田柄第二小学校
校長 岩井 一雄

教育目標 : 元気な子ども ・ 考える子ども ・ 思いやる子ども

絆

校長 岩井 一雄

平成 23(2011)年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)のときのこと。保護者が職場から自宅に戻ることができず、子供が家の中で一人きりになってしまうという事例が都内各所で起きました。家の外に出て泣いている子供に地域の方が声を掛けて、自宅に招き入れ保護していたところ、帰ってきた保護者は、わが子は何者かに連れ去られてしまったと思って大騒ぎになってしまった例もあったそうです。そんなこともあり、絆という言葉が盛んに使われ、日頃から同じ地域に住む子供たちを知り、いざというときには助け合う、ということが盛んに語られました。練馬区でも、それまでなかった小学校でも地域班を編成するようになり、実施の頻度は様々ですが、集団登下校の機会を設定することになったと、先輩の校長から聞きました。(ちなみに田二小では、開校当時から地域班(登校班)があったことが創立の頃の記念誌などに記述されています。)

さて、この 4 月以来、子供たちの登校の様子を校門前で見守ってまいりました。同じ地域の子供たちが集団で登校してきて、歩行マナーがしっかりと守られている様子や、低学年児童も安心して通学してくる様子がよくわかりました。一方で週も半ばになると、班長をはじめ子供たちがまとまって行動することに少々疲れてくる様子が見え、気になりました。当番の保護者の負担も大きいと聞きました。一方でコロナ禍、個人登校のときには、それぞれのペースで歩ける良さがある反面、子供たちが道路の中央にはみ出してしまいがちになる様子も見られ、何度も声を掛けてきました。これもまた大変気になりました。近隣の方からも、歩行マナーの低下についてご指摘を受けることがありました。

上記のようなことがあり、地域の子供たちの絆を大切にしつつ、歩行マナーも定着し、無理なく持続可能な集団登校にするにはどのような形が考えられるか、いろいろな方から考えを伺ってきました。そして、日にちを定めて毎月、月初めの一週間を集団登校にするのがよいのではないかと考えるに至りました。PTA運営委員会でも話題にいただき、共通の認識がもてましたら今年度中に試行してまいりたい、と考えております。その節にはご協力をよろしくお願いいたします。

12月の生活目標「寒さに負けず元気に外遊びをしよう・手洗い、うがいをしっかりしよう」

朝晩がとても冷え込むようになってきましたが、晴れると日中は暖かくなります。進んで外遊びをすることによって身体が鍛えられ、健康な生活が送れるようになります。感染防止に努めながら、外遊びの奨励を行っていきます。しかし、厚着のまま体を動かし汗をかくと体を冷やすことがあります。健康に過ごすために脱ぎ着ができる服装で登校させてください。遊んだ後の、「手洗い・うがい」もしっかりと声をかけていきます。

お知らせ

12月1日(水)付で、新たな副校長が着任いたしました。

氏名 新保 有希子 副校長 (新宿区立落合第六小学校より) どうぞよろしくお願いいたします。